

貯 法：室温保存

使用期限：3年（ラベルに表示の使用期限を参照すること。）

承認番号	22000AMX02200
薬価収載	2008年12月
販売開始	2008年12月
再評価結果	1979年2月

## 局所麻酔剤、鎮痛・鎮痒剤

## アミノ安息香酸エチル原末「マルイシ」

## 日本薬局方 アミノ安息香酸エチル

## 【禁忌(次の患者には投与しないこと)】

- (1) 本剤に対し過敏症の既往歴のある患者
- (2) 乳幼児〔内用及び坐剤の場合〕(「4. 小児等への投与」の項参照)

## 【組成・性状】

## 1. 組成

本品1g中 日局アミノ安息香酸エチル1g 含有。

## 2. 性状

白色の結晶又は結晶性の粉末で、においはなく、味はやや苦く、舌を麻痺する。  
エタノール(95)又はジエチルエーテルに溶けやすく、水に極めて溶けにくい。希塩酸に溶ける。

## 【効能・効果】【用法・用量】

	効能・効果	用法・用量
経口	下記疾患に伴う疼痛・嘔吐 胃炎、胃潰瘍	通常成人1日0.6～1gを3回に分割経口投与する。 なお、年齢、症状により適宜増減する。
外用	下記疾患における鎮痛・鎮痒 外傷、熱傷、日焼け、皮膚潰瘍、そう痒症、痔疾	通常、5～15%の軟膏剤、液剤、散布剤として、又は1個中200～300mgを含有する坐剤として適宜患部に使用する。

## 【使用上の注意】

## (経口)

## 1. 副作用

本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。

	頻度不明	0.1～5%未満	0.1%未満
過敏症 <sup>(注1)</sup>	過敏症状		
消化器 <sup>(注2)</sup>		食欲不振、悪心、口渇、便秘	下痢等
血液 <sup>(注3)</sup>			メトヘモグロビン血症

(注1) このような症状があらわれた場合には投与を中止すること。

(注2) このような症状の継続又は増強がみられた場合は、減量又は投与を中止するなど適切な処置を行うこと。

(注3) 異常が認められた場合には、投与を中止し、適切な処置を行うこと。

## 2. 高齢者への投与

一般に高齢者では生理機能が低下しているので減量するなど注意すること。

## 3. 妊婦、産婦、授乳婦等への投与

妊娠中の投与に関する安全性は確立していないので、妊婦又は妊娠している可能性のある婦人には、治療上の有益性が危険性を上回ると判断される場合にのみ投与すること。

## 4. 小児等への投与

メトヘモグロビン血症が報告されているので、乳幼児には投与しないこと。

## 5. 適用上の注意

使用時：

- (1) 長期連続投与は避けること。
- (2) 服用にあたっては、口内にしびれ等を残さないため速やかに飲みくたすよう注意させること。

## (外用)

## 1. 副作用

本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。

## その他の副作用

過敏症：発疹、そう痒等（頻度不明）があらわれることがあるので、このような症状があらわれた場合には使用を中止すること。

## 2. 高齢者への使用

一般に高齢者では生理機能が低下しているので減量するなど注意すること。〔坐剤の場合〕

## 3. 妊婦、産婦、授乳婦等への使用

妊娠中の使用に関する安全性は確立していないので、妊婦又は妊娠している可能性のある婦人には、治療上の有益性が危険性を上回ると判断される場合にのみ使用すること。〔坐剤の場合〕

## 4. 小児等への使用

メトヘモグロビン血症が報告されているので、乳幼児には使用しないこと。〔坐剤の場合〕

## 5. 適用上の注意

投与経路：眼には使用しないこと。〔軟膏剤、液剤の場合〕

使用時：誤って吸入しないよう注意させること。〔散布剤の場合〕

【薬効薬理】<sup>1)～3)</sup>

## (経口)

胃粘膜の知覚神経末端を麻痺させ、中枢への刺激伝達を遮断して疼痛、嘔吐を鎮める。

## (外用)

神経節における伝達及び神経-筋接合部での伝達を阻害する。

また、刺激作用がなく、組織を腐蝕する恐れがない。

## 【有効成分に関する理化学的知見】

一般名：アミノ安息香酸エチル (Ethyl Aminobenzoate)

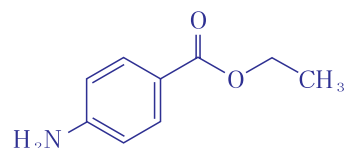
化学名：Ethyl 4-aminobenzoate

分子式：C<sub>9</sub>H<sub>11</sub>NO<sub>2</sub>

分子量：165.19

融点：89～91℃

構造式：



## 【包装】

500 g

## 【主要文献】

- 1) 熊谷 洋他：臨床薬理学大系，第2巻，35（1972）
- 2) 熊谷 洋他：臨床薬理学大系，第8巻，209（1972）
- 3) 羽野 壽他：新しい薬理学，第2版，194・266（1983）

## 【文献請求先】

丸石製薬株式会社 学術情報グループ  
〒538-0042 大阪市鶴見区今津中2-4-2  
TEL. 0120-014-561

製造販売元

 **丸石製薬株式会社**  
大阪市鶴見区今津中2-4-2